

明治期～昭和戦前期の鹿児島県における陶磁器生産(1)

— 『鹿児島県勸業年報』『鹿児島県統計書』から —

渡 辺 芳 郎

近世の窯業は、陶土や陶石などの原料や燃料などを入手するために、広範な生産エリアと各種特権を必要とすることから、藩をはじめとする支配層のなんらかの保護あるいは容認が不可欠であったという（仲野1994）。それゆえ幕末維新期の社会的混乱、とくに明治4年（1871）の廃藩置県による藩の保護の喪失は、全国の陶磁器生産地に甚大な影響を与えた（中ノ堂1984など参照）。鹿児島もその例外ではなく、以後、近代化・資本主義化の荒波の中で、各窯場で生き残りの戦いが始まる。

これまで明治以降の鹿児島県下の陶磁器生産については、明治18年（1885）の「繭絲織物陶漆器共進会 陶器功労者履歴」（『薩陶製蒐録』収録 鹿児島県立図書館蔵）において自己申告された陶工たちの「履歴」や、その翌年の『府県陶器沿革陶工伝統誌』（農務局工務局1886）、また『日本近世窯業史』（大日本窯業協会編1914）、『薩摩焼総鑑』（前田1934）、『薩摩焼の研究』（田沢・小山1941）などに掲載されている同時代の聞き書き資料などが重要な手がかりとされてきた。そこでは各窯場の陶工たちの奮闘と努力、そして時代の流れの中での盛衰が語られている。これら同時代における証言は、なにものにも代え難い貴重な資料であるが、その一方で、人間もまた歴史的存在である以上、そこにバイアスがかかっている可能性は否めない。それゆえ明治以降の鹿児島県における陶磁器生産を考えるためには、それら聞き書き資料とは異なる側面からのアプローチを試み、その証言を検証していく必要がある。

本稿で紹介しようとする資料— 『鹿児島県勸業年報』と『鹿児島県統計書』— というふたつの統計調査報告書は、その異なるアプローチのための基礎資料の

ひとつである。

『勸業年報』とは、明治10年(1877)に内務省農務局(のちの農商務省)が出した「農事通信仮規則」に基づいて、各府県で調査した事項をまとめたものに端を発し、多くの府県で明治11年対象から刊行され始め、さらに明治16年の「農商務通信規則」に至って本格化した統計調査報告である。その調査範囲は、「勸業」という言葉が示すように、農業・牧畜・山林・水産業・商業・工業と幅広く、窯業についても「陶器及磁器産額表」「陶磁器業統計表」「陶磁器価額概算表」といった形でまとめられ、各年度の陶器・磁器の生産額や、年度によっては「作業戸数」「職工人員」「製品数」などが記録されている。ただし明治36年、各府県の『勸業年報』が最も集まっていたと思われる農商務省の所蔵図書室が火災に遭い、現在その残存率はきわめて低いという(松田編1980, 一橋大学経済研究所日本統計文献センター編1982, 以下「一橋1982」と略称)。

鹿児島県における『勸業年報』の編纂は明治12年に始まり、同38年に後述する『鹿児島県統計書』の「第2編 勸業」に併合されるまで続いたと考えられている。しかし現在実見できるものは、明治13年分の「第2回」から明治25年分の「第11回」までと、明治33・34年分(『鹿児島県勸業統計書』)の計15年分である(一橋1982)。

一方『府県統計書』は、明治17年(1884)の内務省通達により、「府県統計書様式」が制定され、各地で編纂が始まった統計調査書である。しかしその通達に先行して、『県治一覧概表』あるいは『統計表』という形での統計調査書が作成されている。『府県統計書』の内容は、土地・戸数及人口・農業・牧畜・山林・漁業・工業及製造・土功・商業・貨幣の融通・賃銭及物価・交通・貯蓄及保険・慈惠及褒賞・衛生・寺社・教育及図書新聞・警察・監獄・府県及区町村会・府県及区町村歳入出・国税・官吏及文書の大項目のもと、計284項目の広きに渡る。前述の通達は明治26年(1893)に廃止されるが、府県が国の各省の統計の当該府県分の統計をとりまとめて各省に報告することには変わりはなく、その後も府県統計書として刊行され続けた(神立1996)。

鹿児島県の場合、現在確認できるもっとも古いものは明治12年に刊行された

『鹿児島県治一覽概表』であり、また明治15年に同14年分の『鹿児島県統計表』が刊行されている。その前後する時期においても刊行が推定されているが、はっきりしないようである（一橋1982）。しかし明治21年分以降は継続して刊行されており、大正6・7年（1917・18）分をのぞいて、昭和14年（1939）分まで続く。一時、戦争激化のため刊行が中断し、戦後は『鹿児島県統計年鑑』として再出発、現在に至っている。

筆者がここで紹介するのは、明治12・14年分と明治21年分から昭和14年分である。ただし大正6・7年分については探し得なかった（鹿児島大学図書館・鹿児島県立図書館・鹿児島県庁・一橋大学経済研究所日本経済統計情報センター未所蔵）。この2年分は、『明治以降都道府県統計書総合目録』（国立国会図書館編1956）および『明治6～昭和47年都道府県統計書集成 マイクロフィルム版総目録』（雄松堂フィルム出版1980）ではともに空欄になっており、また『内閣文庫大正時代刊行図書分類目録』（国立公文書館編1979）および『帝国図書館和漢図書目録』（帝国図書館編1936）においても「欠」となっている。それゆえこの2年分については刊行されていない可能性が高いと判断した。

これら『勸業年報』や『府県統計書』は、経済史の分野ではすでに早くから注目されている資料であり、日本の近代化の過程を復元する上で、さまざまな形で利用されている（秋山1981、松田編1980、一橋1982、山口1963など）。それゆえ筆者が改めて取り上げることにさほどの意味がないと言えないこともないが、ひるがえって陶磁器研究からの立場からすれば、冒頭で述べたように、聞き書き中心の研究に対する別のアプローチを提示するための基礎資料として、陶磁器研究者に広く共有されてしかるべき資料であると考えている。それが本稿を草するにいたった主要な理由である⁽¹⁾。

本論は3部構成になっている。第1部、つまり本稿では、明治期の『鹿児島県勸業年報』と『鹿児島県統計書』の陶磁器に関する部分を抜粋して紹介す

⁽¹⁾ ただし川内市平佐焼に関する『鹿児島県勸業年報』『鹿児島県統計書』のデータは、小島早智子によってすでに整理されている（川内市歴史資料館編2000）。

る。ついで第2部では大正期～昭和戦前期の『鹿児島県統計書』を紹介し、第3部で、それらに対する基礎的な統計的操作を試み、またいくつかのコメントを付したいと考えている。

具体的な資料の紹介に入る前にいくつか断っておきたい。

まずここで紹介するのは、おもに陶磁器の「生産」に関わるデータである。『鹿児島県勧業年報』『鹿児島県統計書』には、鹿児島県内の商業関係の統計も収録されており、その中には陶磁器の卸問屋や小売業者の数を調査したものもある。また各港湾における輸出入高をまとめた表もあり、そこには「陶磁器」「瀬戸物」なども項目も見られ、鹿児島産陶磁がどの程度の県外に輸出され、また逆に他県産の陶磁器がどれだけ鹿児島に流入していたかを知る上で貴重な資料を提供している。これら「流通」に関するデータも、明治以降の陶磁器の様相を知る上で重要ではあるが、それらについても触れると、資料数が膨大になり、また煩雑になるので、別稿に譲ることとし、ここでは「生産」に関わる資料に限りたい。

ついで各年度ごとの表については、かなりの数の誤植と思われる部分が見られる。「正誤表」が添付されている年度もあるが、その正誤表で指示された個所以外にも誤植が見られる。前後の数値、あるいは翌年度の表と比較対照し、あきらかに間違いと推定される個所については、訂正した数値や記述を記入し、原本のデータを各表の下段に付した。また不自然ではあるが、正確な数値や記述が判明しないものについては、その旨、やはり各表の下段に付した。あわせて参照していただきたい。

なお表中の各項目の数字は、年次によって漢数字・算用数字の両方が用いられているが、見やすさを考慮して、原則として算用数字に改めた。また年次や所在地については、「全〇年」「全市」といった記載を、前後から判断される限り、固有名詞（「明治〇年」「鹿児島市」など）に置き換えている。

2000年10月27日

参考引用文献

- 「繭絲織物陶漆器共進会 陶器功労者履歴」1885年『薩陶製菟録』（鹿児島県立図書館蔵）
- 秋山凉子1981『『勸業年報』による工業生産の推計（I）』一橋大学経済研究所日本経済統計文献センター 東京
- 神立春樹1996「近代地域史研究史料としての府県統計書」『大学図書館図書資料論』御茶の水書房 pp.125-140 東京
- 国立公文書館編1979『内閣文庫大正時代刊行図書分類目録』国立公文書館 東京
- 国立国会図書館編1958『明治以降都道府県統計書総目録』国立国会図書館 東京
- 川内市歴史資料館編2000『用と美 平佐焼の世界展』図録 川内市歴史資料館 川内
- 大日本窯業協会編1914『日本近世窯業史』（柏書房復刻1991『日本窯業史総説』5巻 東京）
- 田沢金吾・小山富士夫1941『薩摩焼の研究』（国書刊行会復刻1987 東京）
- 帝国図書館編1936『帝国図書館和漢図書名目録 第四編 自明治四十五年一月至大正十五年十二月增加分』帝国図書館 東京
- 仲野泰裕1994「19世紀の窯業－伝統と西欧技術の受容」『化学史研究』vol.21 pp.152-171
- 中ノ堂一信1984「近代窯業の展開」『講座・日本技術の社会史 第四巻 窯業』日本評論社 pp.215-244 東京
- 農務局工務局1886『府県陶器沿革陶工伝統誌』（龍溪書舎復刻1994『明治後期産業発達史資料』187巻 東京）
- 一橋大学経済研究所日本経済統計文献センター編1982『明治期における府県総括統計書書誌－「勸業年報」によるデータベース編成事業報告書(6)－』一橋大学経済研究所日本経済統計文献センター 東京
- 前田幾千代1934『薩摩焼総鑑』（思文閣復刻1976『陶器全集』第3巻 東京）
- 松田芳郎編1980『明治期府県の総括統計書解題』一橋大学経済研究所日本経済統計文献センター 東京
- 山口和雄1963『明治前期経済の分析（増補）』東京大学出版会 東京
- 雄松堂フィルム出版編1980『明治6年～昭和47年 都道府県統計書集成 マイクロフィルム版総目録』雄松堂フィルム出版 東京

明治期の鹿児島県における陶磁器生産
 — 『鹿児島県勸業年報』『鹿児島県統計書』から—

『鹿児島県勸業年報』（『鹿児島県勸業統計書』）

明治13年(1880) 『第二回鹿児島県勸業年報』鹿児島県農商務課 (明治15年出版版)

※陶磁器関係のデータなし

明治14・15年(1881・1882) 『第三回鹿児島県勸業年報』鹿児島県農商務課 (明治18年刊行)

※陶磁器関係のデータなし

※ただし明治14年の「内国勸業博覧会」受賞者名と出品作に対する解説あり

明治16・17年 (1883・1884) 『第四回鹿児島県勸業年報』鹿児島県農商務課 (明治19年刊行)

種別	年次	産額	価格(圓)	※
陶器	16年	270000	1350.000	
	17年	380000	13800.000	

※それぞれ「1350円」「3800円」と考えられる。

明治18年(1885) 『第五回鹿児島県勸業年報』鹿児島県農商務課 (明治20年刊行)

※陶磁器関係のデータなし

※ただし明治18年開催の「全国繭糸織物陶漆器共進会」における受賞者名と功労賞・追賞者の人名と履歴の記述あり

明治19年(1886) 『第六回鹿児島県勸業年報』鹿児島県農商務課 (明治21年刊行)

「工業年報 但陶器生糸木綿織物

明治十八九年本県管内ニ於テ重ナル陶器木綿織物生糸工業ノ景況ヲ通観スルニ日置郡苗代川陶器ノ如キハ所謂古来薩摩陶器ノ声価ヲ内外ニ博セシ末流ニシテ維新以來当業者益改良繁栄ヲ図ルト雖如何セン資金欠乏ヲ告ゲ悉ク内外需用者ノ意ヲ満足セシムルニ足ラズ (以下略)」

工業製品	製造地名	製造主	職工	製造額	
				数量	概価
陶器	日置郡苗代川村	5人	40人		5000円

工業製品	製造地名	製造主	職工	製造額	
				数量	概価
陶器	日置郡苗代川村	5人	35人		7448円

明治20年(1887)『第七回鹿児島勸業年報』鹿児島農商務課(明治22年刊行)

陶器及磁器産額表	毎五年一ヶ年間調												
	陶器					磁器							
郡名	素焼窯	本窯	錦窯	書附	青染	無地	雑	合計	鋪手	染附	無地	雑	合計
鹿児島	20	-	-	-	-	946円	-	946円	-	-	-	-	-
日置	1	10	1	300円	-	3,700円	1,000円	5,000円	-	-	-	-	-
薩摩	5	21	-	-	-	-	-	-	-	1,050円	180円	200円	1,430円
始良	1	13	-	-	50円	120円	180円	350円	-	-	-	-	-
合計	27	44	1	300円	50円	4,766円	1,180円	16,296円	-	1,050円	180円	200円	1,430円

「工業年報 但陶器生糸木綿織物 承前
 茲ニ本年管内ニ於テ製出スル重ナル工業ハ陶器木綿飛白織物生糸等ニシテ各其工業ノ景況ヲ通観スルニ薩摩国日置郡苗代川陶器ハ前年ニ比スレバ別ニ變動ナシ(以下略)」

本年管内三品製造前年比例概表			
工業製品	製造地名	製造主	職工
陶器	日置郡苗代川村	5人	42人
		製造所	製造額
		数量	概価
陶器	日置郡苗代川村	5人	42人
		311,920個	7,798円

明治21年(1888)『第八回鹿児島勸業年報』鹿児島農商務課(明治23年刊行)

陶磁器業統計表	新加 鹿児島														
	始 良					日 置					薩 摩				
郡名	17年	18年	19年	20年	21年	17年	18年	19年	20年	21年	17年	18年	19年	20年	21年
作業者	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸
戸数	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人
職工	4人	4人	4人	4人	4人	40人	56人	56人	75人	80人	21人	23人	23人	26人	15人
人員	4人	4人	4人	4人	4人	40人	56人	56人	75人	80人	21人	23人	23人	26人	14人
製品	7,500個	4,500個	3,970個	6,800個	3,700個	30,900個	32,000個	32,500個	36,100個	36,200個	43,000個	45,800個	67,900個	76,100個	101,600個
数量	175円	130円	128円	160円	120円	618円	640円	650円	722円	724円	5,300円	5,910円	6,380円	6,380円	6,960円
価額	175円	130円	128円	160円	120円	618円	640円	650円	722円	724円	5,300円	5,910円	6,380円	6,380円	6,960円
合計	175円	130円	128円	160円	120円	618円	640円	650円	722円	724円	5,300円	5,910円	6,380円	6,380円	6,960円
合計	175円	130円	128円	160円	120円	618円	640円	650円	722円	724円	5,300円	5,910円	6,380円	6,380円	6,960円
合計	175円	130円	128円	160円	120円	618円	640円	650円	722円	724円	5,300円	5,910円	6,380円	6,380円	6,960円
合計	175円	130円	128円	160円	120円	618円	640円	650円	722円	724円	5,300円	5,910円	6,380円	6,380円	6,960円

本表ハ農商務省工務局ノ依頼ニ因リ調査セシヲ以テ茲ニ揚グテ參考ト為ス

明治24年(1891)「第十回鹿児島勸業年報」鹿児島農商務課(明治26年刊行)

郡(市)名	陶器	磁器
日置	8,954円	-
薩摩	-	1,256円
始良※2	738円	-
鹿児島市	190円	-
総計	9,882円	1,256円

※1 原本では県内各郡市名を列挙するが、陶磁器生産の示されている郡市のみ抽出した
 ※2 原本は「桑原」だが、右隣の欄の「始良」の誤植と考える

名称	営業種別	所在地	創業年月	資本金	同払込高	組合人員	職工人員	蒸気機関数	馬力	水車数	馬力
磁器製造所	磁器製造	薩摩郡平佐村	明治16年1月	975円	975円	6名	23名	-	-	-	-

明治25年(1892)「第十一回鹿児島勸業年報」鹿児島農商務課(明治27年刊行)

郡市名	陶器	磁器
鹿児島市	170円	-
日置	27,200円	-
薩摩	-	2,583円
始良	753円	-
西嶺岨	30円	-
総計	28,153円	2,583円

※ 原本では県内各郡市名を列挙するが、陶磁器生産の示されている郡市のみ抽出した

名称	営業種別	所在地	創業年月	資本金	同払込高	組合人員	職工人員	蒸気機関数	馬力	水車数	馬力
皿山磁器製造所	磁器製造	薩摩郡平佐村	明治16年1月	975円	同上	6名	24名	-	-	-	-

明治33年(1900)『鹿児島県勸業統計書』(明治36年刊行)

第八七 工場		明治三十三年											
工場名	所在地名	製造品類	創業年月	電力			原動力			職工及徒弟計		持主名	
				機関数	公称馬力	馬力	機関数	公称馬力	馬力	男	女		
田ノ浦陶器製造所	鹿児島市清水町	陶器製造	明治33年8月	-	-	-	-	-	-	14	-	14	廣田政太郎
陶器製造所	鹿児島市	薩摩燗陶器	明治33年5月	-	-	-	-	-	-	13	-	13	隈元金六
玉光山	下伊集院村苗代川	花瓶燗須皿茶碗置物鉢類	明治5年5月	-	-	-	-	-	4	11	-	11	沈壽官※1

※1 原本「沈壽官」

第八八 陶磁器産産額		明治三十三年									
製造地名	製造戸数	窯数			職工		製造品価額				
		登窯筋	間数	鋪窯其他	男	女	計	計			
鹿児島市	3	14	6	-	21	1	22	8,000円			
日置郡苗代川	9	65	6	-	35	-	35	25,000円			
始良郡加治木	15	21	-	-	30	15	45	4,550円			
薩摩郡平佐	6	26	2	-	48	-	48	3,000円			
計	33	126	14	-	134	16	150	40,550円			

第一〇〇 鹿児島市工業戸数	明治三十三年※
職名	戸数
陶磁器製造職	30

※ 原本では各種職名48種を挙げていますが、陶磁器関係のみを抽出した。以下においても同じ。

明治34年(1901)「鹿児島県勸業統計書」(明治36年刊行)

第一〇〇 諸工場		明治三十四年																				
場名	所在地名	製造品種	創業年月	蒸気			石油発動機			電氣			水力		職工		一箇年執業日数	一日就業時間	職工人ノ賃錢ノ實錢(錢)	日雇労働人(人)		持主名
				機関数	公称馬力	機数	公称馬力	機数	公称馬力	機数	公称馬力	男	女	男	女							
隈元陶器製造所	鹿児島市柳町	陶器	明治23年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	3	17	350	10	40	-	-	隈元金六
田ノ浦陶器製造所	同市清水町	同	明治33年8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12	340	8	40	-	-	慶田政太郎
玉光山	下置郡下伊集院村苗代川	同	明治5年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11	11	360	10	35	-	4	沈壽臣

第一〇四 工業戸数ノ三 明治三十四年

郡市	陶器
鹿児島市	8戸
日置	24戸
始良	9戸
薩摩	1戸
合計	42戸

第一〇八 工業戸数ノ七 明治三十四年

郡市	金銀陶器工
指宿	2戸
薩摩	1戸
合計	3戸

第一〇九 工業戸数ノ八 明治三十四年

郡市	磁器製造
薩摩	5戸
合計	5戸

第一一九 陶磁器 明治三十四年

種別	製造戸数	窯数			職工		製造品価格
		登窯	窯間数	其他	男	女	
陶器	5	5	18	9	38	-	20,000円
鹿児島市	12	12	65	6	35	-	25,600円
日置郡苗代川	15	3	21	-	30	15	3,500円
始良郡加治木村小山田	1	-	-	-	2	1	240円
薩摩郡東志布志村※	6	6	26	2	48	-	3,500円
薩摩郡平佐村	39	26	130	17	153	16	52,840円
計							

※原本「東志加志村」

※明治38年(1905)「鹿児島県統計書」に併合。「第2編 勸業」となる。

『鹿児島県統計書』

明治11年(1878)『鹿児島県治一覽概表』鹿児島県(明治12年刊行)

※陶磁器関係のデータなし

明治14年(1881)『鹿児島県統計表』鹿児島県(明治15年刊行)

※陶磁器関係のデータなし

※ただし「各港輸出入物品」の「輸出」の項に「土焼陶器」あり

明治21年(1888)『鹿児島県統計書』鹿児島県(明治25年刊行)

第八四 陶磁器産額					
郡名	製造家	窯数※1	陶器(円)	磁器(円)	合計(円)
鹿児島	1	2	170	-	170
日置	12※2	12	6,960	-	6,960
揖保	1	5	1,200	-	1,200
薩摩	3※3	27	-	3,160	3,160
姶良	53※4	14	1,985	-	1,985
合計	70	60	10,315	3,160	13,475
二十年	70	60	8,650	2,108	10,758
十九年	70	60	8,260	840	9,100

※1 「窯数」ではなく「室数」を示している数値も含まれると考えられる

※2 同年の『鹿児島県勸業年報』では「5戸」(前掲)

※3 同年の『鹿児島県勸業年報』では「4戸」(前掲)

※4 同年の『鹿児島県勸業年報』では「25戸」(前掲)。また明治18年(1885)の龍門司陶工「川原源助履歴」によれば「現今僅に十六戸に至る」(『薩陶製菓録』鹿児島県立図書館蔵)とある。

明治22・23年(1889・1890)『鹿児島県統計書』鹿児島県(明治25年刊行)

第九七 鹿児島市工業戸数 二十三年三月三十一日現在		
業名	戸数	二十三年
陶器製造	1	1

第九八 陶磁器産額					
製造地	製造家数	窯数※	戸数窯数ハ、二十三年十二月三十一日現在		
			陶器(円)	磁器(円)	合計(円)
鹿児島市田ノ浦	1	1	195	180	375
日置郡苗代川	5	12	28,000	30,000	58,000
揖保郡指宿村	1	5	98	180	278
薩摩郡血山	9	19	-	1,660	1,660
姶良郡加治木	28	14	752	715	1,467
合計	44	51	29,045	31,075	60,120

※ 「窯数」ではなく「室数」を示している数値も含まれると考えられる

明治24年(1891)「鹿児島県統計書」鹿児島県(明治26年刊行)

地名	24年末ノ製造家			陶器(円)			磁器(円)			合計(円)		
	窯数	1	24年	23年	22年	24年	23年	22年	24年	23年	22年	
鹿児島市田ノ浦	1	1	190	195	180	-	-	-	190	195	180	
日置郡下伊集院村苗代川	5	12	27,800	28,000	30,000	-	-	-	27,800	28,000	30,000	
揖保郡指宿村	-	-	-	98	180	-	-	-	-	98	180	
薩摩郡平佐村皿山	9	19	-	-	-	1,258	1,660	1,680	1,258	1,660	1,680	
始良郡加治木村小山田	28	1※2	738	752	715	-	-	-	738	752	715	
合計	43	33	28,728	29,045	31,075	1,258	1,660	1,680	29,986	30,705	32,755	

※1 「窯数」ではなく「室数」を示している数値も含まれると考えられる
 ※2 前年度「14」から急減、この数値は「窯数」か？

第一一三 鹿児島市工業戸数 年末現在	
職名	戸数
陶器製造	2

明治25年(1892)「鹿児島県統計書」鹿児島県(明治28年刊行)

地名	25年末ノ職工			陶器(円)			磁器(円)			合計(円)			
	窯数	1	25年	24年	23年	22年	25年	24年	23年	22年	25年	24年	22年
鹿児島市清水馬場町田ノ浦	1	4	170	190	195	180	-	-	-	-	170	190	180
日置郡下伊集院村苗代川	11	49	27,750	27,800	28,000	30,000	-	-	-	-	27,750	27,800	30,000
揖保郡指宿村	-	-	-	-	98	180	-	-	-	-	-	-	98
薩摩郡平佐村皿山	26	48	-	-	-	-	2,583	1,258	1,660	1,680	2,583※2	1,258	1,660
始良郡加治木村小山田	12	48	753	738	752	715	-	-	-	-	753	738	715
西郷郡分村上小川	4	4	220	-	-	-	-	-	-	-	220	-	-
熊毛郡北種子村	1	2	50	-	-	-	-	-	-	-	50	-	-
合計	55	155	28,943	28,728	29,045	31,075	2,583	1,258	1,660	1,680	31,526※3	29,986	30,705

※1 「窯数」ではなく「室数」を示している数値も含まれると考えられる
 ※2 原本「5,837」
 ※3 原本「31,626」

第一一四 鹿児島市工業戸数 二十五年末	
職名	戸数
陶器製造職	2

明治26年 (1893) 『鹿児島県統計書』鹿児島県 (明治28年刊行)

第一〇一 地名	陶器磁器産額 26年末					陶器 (円)					磁器 (円)					合計 (円)				
	窯数※1	職工	26年	25年	24年	23年	26年	25年	24年	23年	26年	25年	24年	23年	26年	25年	24年	23年		
鹿児島市清水	1		180	170	190	195	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
馬場町田之浦	2																			
日置郡下伊集	11	45	25,180	27,750	27,800	28,000	-	-	-	-	-	-	-	25,180	27,750	27,800	28,000			
院村苗代川	-					98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98		
揖保郡揖保村	-																			
薩摩郡平佐村	21	24	-	-	-	-	2,350	2,583	1,258	1,660	2,350	2,350	2,350	5,837	1,258	1,258	1,660			
大辰														※2						
始良郡加治木	12	48	762	753	738	752	-	-	-	-	-	-	-	762	753	738	752			
村小山村																				
西郷郡郡分	4	4	255	220	-	-	-	-	-	-	-	-	-	255	220	-	-			
村上小川																				
熊毛郡北種子	1	2	10	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	50	-	-			
村																				
総計	50	125	26,387	28,943	28,728	29,045	2,350	2,583	1,258	1,660	28,737	34,780	29,986	34,780	29,986	30,505	30,505			
														※3				※4		

※1 「窯数」ではなく「室数」を示す数値を含んでいる可能性がある
 ※2 前年度の誤植を踏襲している
 ※3 ※2を加算している。前年度は「31,526円」
 ※4 総計は「30,705円」になる。

第一一三 鹿児島市工業戸数	三十六年末
職名	戸数
陶器製造職	2

明治27年 (1894) 『鹿児島県統計書』 (明治29年刊行)

第一〇三 工場※		廿七年末															
工場名	所在地名	製造品類	創設年月	蒸気					原動力					職工			
				機関数	公称馬力	車数	公称馬力	水車	公称馬力	機械数	人力	男	女	計			
玉光山	日置郡下伊集院村苗代川	陶器	明治5年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	11
磁器製造所	薩摩郡平佐村天辰皿山	磁器	安永2年	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	24	6	30	

※ 『府県統計書』中に記載された「工場」というのは、多かれ少なかれ賃金労働者を有する工業経営の意味であって、厳密な意味での工場では必ずしもない。(山口1963 p.105)

第一〇五 陶器磁器産額	地名	27年		26年		25年		24年		27年		26年		25年		24年		合計 (円)		
		職工	窯数	職工	窯数	職工	窯数	職工	窯数	職工	窯数	職工	窯数	職工	窯数	職工	窯数	26年	25年	24年
鹿児島市清水馬場町田之浦	新屋敷通町	7	3	170	180	170	190	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	170	180	170
日置郡下伊集院村苗代川	薩摩郡平佐村天辰	36	11	22,662	25,180	27,750	27,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22,662	25,180	27,750
薩摩郡平佐村天辰		23	21	-	-	-	-	2,300	2,350	2,583	1,258	2,300	2,350	2,583	1,258	2,300	2,350	2,300	2,350	5,837
始良郡加治木村小山田	熊毛郡北種子村	1	1	1,075	762	753	738	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,075	762	753
熊毛郡北種子村		1	1	-	10	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	50
総計		120	37	23,907	26,132	28,723	28,728	2,300	2,350	2,583	1,258	2,300	2,350	2,583	1,258	2,300	2,350	26,207	28,482	34,560

※1 「窯数」ではなく「室数」を示す数値を含んでいる可能性がある
 ※2 前年度の数値を踏襲
 ※3 ※2を加算した数値

第一一六 鹿児島市工業戸数	廿七年末
職名	戸数
陶器製造職	4

明治28年(1895)『鹿児島県統計書』(明治30年刊行)

工場名	工場所在地名	製造品類	創業年月	二十八年末				職工計				
				蒸気機関数	蒸気公称馬力	電気機関数	電気公称馬力	人力機関数	人力	男	女	
玉光山	日置郡下伊集院村苗代川	陶器	明治5年5月	-	-	-	-	-	-	11	-	11
磁器製造所	薩摩郡平佐村天辰	磁器	安政2年※2	-	-	-	-	-	-	30	10	40

※1 原本「電気」の誤植か？
 ※2 「安永2年」の誤植か？

郡市名	所在地名	製造戸数	窯数			職工		二十八年調 製造品価額(円)
			筋	登窯		錦窯		
				間数	5※1			
鹿児島市	清水馬場町	1	8	5※1	1	3	600	
日置郡	下伊集院村苗代川	11	11	65	5	34	22,660	
薩摩郡	平佐村天辰字血山※2	4	21※3	28	1	30	2,355	
始良郡	加治木村大字小山田	28	2	14	-	50	2,700	
合計		44	42	112	7	117	28,315	

※1 登窯が「8」筋で「5」間というのは不自然
 ※2 原本「血山」
 ※3 前年度の「窯数」を引き継いでいると思われるが、次年度は「4」筋「21」間なので、「筋」数としては多すぎる。

第一三〇 鹿児島市工業戸数	二十八年末
職名	戸数
陶器製造職	4

明治29年(1896)『鹿児島県統計書』(明治31年刊行)

工場名	所在地名	製造品類	創業年月	二十九年末				持主名			
				蒸気機関数	公称馬力	水力機関数	公称馬力	男	女	計	
玉光山	日置郡下伊集院村苗代川陶器	陶器	明治5年5月	-	-	-	-	11	-	11	沈壽官

郡市名	陶器磁器産額所在地名	製造戸数	窯数※		職工		製造品価額(円)
			登窯筋	間数	窯	職工	
鹿児島市	清水馬場町	1	1	10	2	7	1,200
鹿児島	吉野村吉野	2	2	8	2	6	50
日置	下伊集院村苗代川	12	11	65	5	35	23,680
薩摩	平佐村天辰字血山※2	4	4	21	2	36	2,010
始良	加治木村大字小山田	28	2	19	-	50	3,000
合計		46	20	123	11	134	29,940

※1 本表の「窯」はすべて「籠」となっているが、正誤表より訂正
 ※2 原本「血山」

第一四七 鹿児島市工業戸数 廿九年末		
陶器製造職	戸数	2

明治30年(1897)「鹿児島県統計書」(明治32年刊行)

工場名	工場所在地名	製造品類	創業年月	三十一年				持主名			
				原動力		職工					
				蒸気機関数	公称馬力	水力機関数	公称馬力		男	女	計
玉光山	日置郡下伊集院村苗代川	陶器	明治5年5月	-	-	-	-	11	-	11	沈壽官

郡市名	陶器磁器産額所在地名	製造戸数	窯数			職工	製造品価額(円)
			筋	竈			
				間数	竈		
鹿児島市	清水馬場町	3	3	13	2	11	2,460
鹿児島市	吉野村吉野	1	2	8	2	6	50
日置	下伊集院村苗代川	12	11	65	5	35	24,150
始良	加治木村大字小山田	28	2	19	-	50	3,320
薩摩	平佐村天辰字皿山※1	4	4	21	2	36	1,130
合計		48	22	126	11	138	31,110

※1 原本「皿山」

職名	戸数	三十年末
陶器製造職	80	※1

※1 前年度に比べると、急激に増加。

明治31年(1898)『鹿児島県統計書』(明治34年刊行)

第一〇七 工場名	工場所在地名	製造品類	創業年月	三十一年末								
				蒸気		水力		人力				
				機関数	公称馬力	機関数	公称馬力	機関数	計			
玉光山	下伊集院村苗代川字藤尾	陶器	明治5年5月	-	-	-	-	-	11	-	11	沈壽官

第一〇八 都市名	陶器磁器産額 所在地名	製造戸数	三十一年				製造品価額※
			窯数		職工		
			各窯 筋	間数	綿窯	職工	
鹿児島市	清水馬場町	4	4	18	13	16	3,320
鹿児島	吉野村吉野	1	2	8	2	6	50
日置	下伊集院村苗代川	12	11	65	5	35	24,300
始良	加治木村大字小山田	10	2	19	-	50	3,320
薩摩	平佐村天辰字皿山	4	4	22	2	36	1,100
合計		31	23	132	22	143	32,090
本表中薩摩郡ハ磁器ナリ							

※ 単位未記載。「円」であらう。

第一二五 職名	鹿児島市工業戸数	三十一年末現在 戸数
陶器製造職		35※

※ 前年度に比べ急激に減少。

明治32年(1899)『鹿児島県統計書』(明治35年刊行)

工場名	工場所在地名	製造品種	創業年月	三十二年末				持主名		
				素気 機関数	原動力 公称馬力	水力 公称馬力	人力 機関数		職工 男女計	徒 男女計
玉光山	日置郡下伊集院村苗代川	急須、茶碗、花瓶、 置物、皿、鉢類	明治5年5月4	?	-	-	11	11	1	沈壽官

第一一〇 陶磁器産額 郡市	所在地名	製造戸数	三十二年				製造品価額(円)	
			窯数		職工			
			登窯 筋	間数	男	女		
鹿児島市	清水町	4	4	18	13	16	16	3,318
日置	下伊集院村苗代川	13	11	65	5	35	-	24,500
始良	加治木村大字小山田	15	3	21	-	30	15	4,550
薩摩	平佐村天辰字皿山	6	6	26	2	48	-	2,000
合計		38	24	130	20	129	15	34,368

本表中薩摩郡平佐村ハ磁器ナシ

第一二九 鹿児島市職業者数	三十二年調
職名	戸数
陶器製造職	29

明治33年(1900)「鹿児島県統計書」(明治36年刊行)

第一〇二 工場		明治三十三年													
工場名	所在地名	製造品類	創業年月	電氣			蒸氣			人力			職工及徒弟計	持主名	
				機	公	馬	機	公	馬	機	公	馬	男	女	
				数	称	力	数	称	力	数	称	力	数	数	数
田ノ浦陶器製造所	鹿児島市清水町	陶器製造	明治33年8月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	鹿田政太郎
陶器製造所	鹿児島市	薩摩焼陶器	明治33年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	隈正金六
玉光山	下伊集院村苗代川	花瓶急須皿茶碗置物鉢類	明治5年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	沈壽官※1

※1 原本「沈壽官」

第一〇三 陶器磁器産額		明治三十三年										
製造地名	製造戸数	窯数			職工		製造品価額(円)					
		登窯	間数	筋	男	女	計	其他	其他	其他	其他	
鹿児島市	3	3	14	6	21	1	22	8,000	-	-	-	-
日置郡苗代川	9	11	65	6	35	-	35	25,000	-	-	-	-
於良郡加治木	15	3	21	-	30	15	45	4,550	-	-	-	-
薩摩郡平佐	6	6	26	2	48	-	48	3,000	-	-	-	-
計	33	23	126	14	134	16	150	40,550	-	-	-	-

第一一五 鹿児島市工業戸数 明治三十三年	
職名	戸数
陶磁器製造職	30

明治34年(1901)「鹿児島県統計書」(明治36年刊行)

場名	工場 所在地名	製造 品種	創業年月	明治三十四年										持主名					
				蒸気		石油発動機		電氣		水力		職工及徒弟人員			職工 一人一日 賃銭 (銭)	日 働 人 夫			
				機 関 数	公 称 馬 力	機 関 数	公 称 馬 力	機 関 数	公 称 馬 力	機 関 数	公 称 馬 力	男	女				男	女	
隈元陶器製造所	鹿児島市柳町	陶器	明治23年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	14	3	17	350	40	-	-	隈元金六
田ノ浦陶器製造所	全市清水町	全	明治33年8月	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12	340	40	-	-	慶田政太郎
玉光山	日置郡下伊集院村苗代川	全	明治5年5月	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11	11	360	35	4	1	沈壽吉

第一〇三 陶磁器 種別	製造戸数	明治三十四年																		
		窯数		職工		製造品価額		其他		製造品価額										
		登窯 筋	間数	男	女	計	男	女	計	男	女									
陶器	5	5	18	9	38	-	38	20,000円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日置郡苗代川	12	12	65	6	35	-	35	25,600円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
始良郡加治木村小山田	15	3	21	-	30	15	45	3,500円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日置郡東志布志村※1	1	-	-	-	2	1	3	240円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
薩摩郡平佐村	6	6	26	2	48	-	48	3,500円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	39	26	130	17	153	16	169	52,840円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 原本「東志加志村」

※この年より「鹿児島市工業戸数」はなくなる。

明治35年(1902)『鹿児島県統計書』(明治37年刊行)

第一〇八 工場 名称	製造品種	所在地名	創立年月	蒸気機関馬力		職工及徒弟		一年執業日数	一日執業時間	明治三十五年十二月三十一日 持主氏名
				機	力	男	女			
隈元陶器製造所	陶器	鹿児島市柳町	明治23年5月	-	-	14	3	350	10	隈元金六
田ノ浦陶器製造所	陶器	全市清水町	明治33年8月	-	-	15	4	340	8	廣田政太郎
平光山	陶器	日置郡下伊集院村	明治5年5月	-	-	15	1	360	10	沈壽官
本表小平常職工五人以上ヲ使用スル工場ノミヲ掲ケ										

第一一二 陶磁器 種別	製造戸数	窯数				明治三十五年 職工		製造品価額(円)	
		登窯		鋪窯	其他	男	女		
		筋	間数						
陶器	4	4	18	7	-	31	7	38	18,100
磁器	15	13	63	6	-	51	-	51	26,000
計	19	17	81	13	-	82	7	89	44,100

明治36年(1903)『鹿児島県統計書』(明治38年刊行)

名称	工場 (原動力ノ種 製造品種)	所在地名	創立年月	機関馬力		職工及徒弟計		明治三十六年 一月迄 業日数	明治三十六年 二月迄 業日数	現在 持主氏名	
				男	女	男	女				
田ノ浦陶器製造所	陶器	鹿児島市清水町	明治33年8月	-	-	16	5	21	340	8	慶田政太郎
鷹元陶器製造所	陶器	鹿児島市柳町	明治23年5月	-	-	15	2	17	350	10	鷹元金六
玉光山	陶器	日置郡下伊集院村苗代川	明治5年5月	-	-	15	1	16	360	10	沈壽官
本表ハ平常職工五人以上ヲ使用スル工場ノミヲ掲グ	陶器	日置郡下伊集院村苗代川	明治15年2月	-	-	17	2	19	360	10	東郷壽勝

種別	明治三十六年										
	製造戸数		窯数		職工		製造品価額(円)				
	筋	間数	登窯	間数	男	女	計	製造品価額(円)			計
								男	女	計	
陶器	4	4	18	7	33	7	40	14,500			
磁器	15	13	63	7	56	-	56	31,500			
合計	19	17	81	14	89	7	96	46,000			
陶器	4	6	26	2	15	4	19	2,600			
磁器	38	26	128	16	134	24	158	52,150			

明治37年(1904)『鹿児島県統計書』(明治39年刊行)

第一四三 諸工場ノ一(組織)		明治三十七年十二月三十一日							
名称	所在地名	持主名	創業年月	製造品種	一ヶ月年執業日数	一日執業時間	原動力	機関数	公称馬力
鹿之浦陶器製造所	清水町	慶田政太郎	明治33年8月	裝飾品及日用器具	350	10	-	-	-
隈元陶器製造所※1	柳町	隈元金六※1	明治33年5月	陶器	350	10	-	-	-
玉光山	下伊集院村	沈壽官	明治5年5月	裝飾品、日用器具※3	360	10	-	-	-
玉明山	同村	東郷壽勝	明治15年2月	同上	360	10	-	-	-

※1 原本「隅元」の誤植か？
 ※2 「明治23年」の誤植か？
 ※3 原本「自用器具」

第一四四 諸工場ノ二(職工及徒弟人員)		明治三十七年十二月三十一日			
名称	職工		徒弟人員		日雇労働人夫(人)
	男	女	男	女	
鹿之浦陶器製造所	20	-	20	50	2
隈元陶器製造所	14	1	15	40	15
玉光山	11	-	11	35	4
玉明山	12	-	12	35	4

第一五二 陶磁器		明治三十七年										
種別	製造戸数	窯数		職工(人)			製造品価格(円)					
		登窯	閉窯	男	女	計	裝飾品	家具	飲食器	玩具	其他	計
生産地	15	95	17	102	1	103	18,550	9,300	16,600	1,150	2,800	48,400
其他	17	49	-	39	21	60	550	300	2,900	50	800	4,600
合計	32	29	144	141	22	163	19,100	9,600	19,500	1,200	3,600	53,000
摘要	県下当業者ハ新新ノ知識ニ乏シキ為メ一般需用者少ク之レカガ為メ新業ノ発達運々タルモ漸次之カ改良発達ヲ計リツツアルヲ以テ今後ハ幾分ノ増加ヲ見ルヲ得											

明治38年(1905)「鹿児島県統計書」(明治40年刊行)

工場名	諸工場ノ一(組織)		持主名	創業年月	製造品種	明治三十八年十二月三十一日	
	所在地	一年執業日数				一年執業時間	機関馬力
鹿之浦陶器製造所	清水町	慶田政太郎	明治33年8月	裝飾、日用器具	350	10	-
隈元陶器製造所	柳町	隈元金六	明治23年5月	陶器	350	10	-
日置玉光山	下伊集院村	沈壽官	明治5年5月	裝飾品、日用器具	360	10	-
日置玉光山	同	東郷壽勝	明治15年2月	同	360	10	-

工場名	諸工場ノ二(職工及徒弟人員)		明治三十八年十二月三十一日	
	職工	徒弟人員	職工一日一人ノ賃錢(錢)	日雇労働人夫(人)
鹿之浦陶器製造所	男 20 女 - 計 20	男 50 女 - 計 50	-	男 2 女 3 計 5
隈元陶器製造所	男 15 女 2 計 17	男 40 女 - 計 40	20	-
日置玉光山	男 11 女 - 計 11	男 35 女 - 計 35	-	男 3 女 1 計 4
日置玉光山	男 11 女 - 計 11	男 35 女 - 計 35	-	男 3 女 2 計 5

郡市	陶磁器製造戸数		明治三十八年		職工		製品価額(円)						
	窯数	窯数	窯数		男	女	計	裝飾品	家具	飲食器	玩具	其他	計
			筋	間数									
鹿児島市	2	4	18	7	35	-	35	26,000	-	14,000	-	-	40,000
日置	12	11	77	10	71	-	71	3,560	9,350	3,700	1,200	2,850	20,660
川辺	1	6	7	-	2	-	2	200	-	250	-	-	450
薩摩	4	6	26	-	22	6	28	450	300	2,600	50	-	3,400
姶良	11	2	16	-	15	15	30	100	200	-	600	900	
総計	30	29	144	17	145	21	166	30,210	9,750	20,750	1,250	3,450	65,410
三十七年	32	29	144	17	141	22	163	19,100	9,600	19,500	1,200	3,600	53,000
三十六年	38	26	128	16	134	24	158	52,150	-	-	-	-	-
三十五年	39	26	128	15	132	27	159	51,100	-	-	-	-	-
三十四年	39	26	130	17	153	16	169	52,840	-	-	-	-	-
三十三年	33	23	126	14	134	16	150	40,550	-	-	-	-	-

※ 「川辺焼」の窯かと思われるが、次年度は「1」となっているの、この「6」は誤記か？

明治39年(1906)「鹿児島県統計書」(明治41年刊行)

工場名	所在地	持主名	創業年月	製品種別	明治三十九年十二月三十一日		
					一年執行日数	一年執行時間	公称馬力
鹿兒島市 慶田製陶所	清水町	慶田政太郎	明治33年8月	陶器	350	10	-
鹿兒島市 隈元陶器製造所※1	柳町	隈元金六	明治23年5月	同	350	10	-
鹿兒島市 玉山	下伊集院村 苗代川	鮫高訓吉	明治8年3月	花瓶、急須、茶碗類	360	10	-

※1 原本「隈本」

工場名	職工及徒弟人員		職工一日一人ノ賃錢(錢)		日雇労働人夫(人)	
	男	女	男	女	男	女
鹿兒島市 慶田製陶所	20	-	20	50	-	-
鹿兒島市 隈元陶器製造所※1	20	2	22	40	20	-
鹿兒島市 日玉山	11	-	11	35	3	1

※1 原本「隈本」

郡市	陶磁器製造戸数	明治三十九年												
		窯数		職工		製造品価額(円)		其他		合計				
		筋	登窯	男	女	計	器具	飲食器	玩具	其他	合計			
鹿兒島市	2	14	21	7	-	38	2	40	20,000※	10,000	16,000	1,000	-	47,000
川辺	1	1	7	-	3	3	3	500	300	400	-	-	-	1,200
日置	6	12	77	10	-	71	-	71	3,520	8,330	2,850	1,150	2,550	18,400
薩摩	4	6	26	-	22	6	28	500	350	3,000	60	-	-	3,910
本島	4	2	16	-	13	-	13	50	200	1,280	15	-	-	1,545
始良	17	35	147	17	-	147	8	155	24,570	19,180	23,530	2,225	2,550	72,055
総計	30	29	144	17	-	145	21	166	30,210	9,750	20,750	1,250	3,450	65,410
三十八年	32	29	144	17	-	141	22	163	19,100	9,600	19,500	1,200	3,600	53,000
三十七年	38	26	128	16	-	134	24	158	52,150	-	-	-	-	-
三十六年	39	26	128	15	-	132	27	159	51,100	-	-	-	-	-
三十五年	39	26	128	15	-	132	27	159	51,100	-	-	-	-	-
三十四年	39	26	130	17	-	153	16	169	52,840	-	-	-	-	-

※ 原本「2,000」

明治40年(1907)『鹿児島県統計書』(明治42年刊行)

第一〇七 諸工場ノ一(組織)		明治四十年十二月三十一日							
工場名	所在地	持主名	創業年月	製品種別	一年執業日数	一日執業時間	原動力	機関数	公称馬力
鹿田製陶所	清水町	慶田政太郎	明治33年8月	陶器	350	10	-	-	-
児島陶弘山	柳町	隈元金六	明治19年6月	陶器	340	10	-	-	-
日置	下伊集院村苗代川鎮守ノ下	飯高訓石	明治8年3月	花瓶急須茶碗置物	360	10	-	-	-

第一〇八 諸工場ノ二(職工、徒弟人員及賃錢)		明治四十年十二月三十一日				
工場名	職工及徒弟人員	職工一日一人ノ賃錢(錢)		日雇労働人夫(人)		
		男	女	男	女	
鹿田製陶所	12	-	12	70	5	
児島陶弘山	10	-	10	50	2	
日置	11	-	11	50	3	

第一一八 陶磁器製造戸数		明治四十年												
郡市	製造戸数	窯数			職工数			製造品価額(円)						
		登窯	登窯間数	其他	男	女	計	裝飾器	家具	飲食器	玩具	其他		
鹿児島市	3	14	21	7	24	2	26	35,000	10,000	22,000	1,000	-	-	68,000
川内	1	6	-	-	2	-	2	500	100	400	-	-	-	1,000
日置	6	12	77	10	71	-	71	3,540	8,340	2,870	1,180	2,560	-	18,490
薩摩	4	6	26	-	22	6	28	600	420	3,500	80	-	-	4,600
始良	8	2	15	-	10	-	10	-	300	1,120	100	-	-	1,520
合計	22	35	145	17	129	8	137	39,640	19,160	29,890	2,360	2,560	-	93,610
三十九年	17	35	147	17	147	8	155	24,570	19,180	23,530	2,225	2,550	-	72,055
三十八年	30	29	144	17	145	21	166	30,210	9,750	20,750	1,250	3,450	-	65,410
三十七年	32	29	144	17	141	22	163	19,100	9,600	19,500	1,200	3,600	-	53,000
三十六年	38	26	128	16	134	24	158	52,150	-	-	-	-	-	-
三十五年	39	26	128	15	132	27	159	51,100	-	-	-	-	-	-

明治41年(1908)『鹿兒島県統計書』(明治43年刊行)

第一一〇 諸工場ノ一(組織)		明治四十一年十二月三十一日						
工場名	所在地名	持主名	創業年月	製品種別	一年執業日数	一年執業時間	原動力	機関馬力
鹿兒島市 慶田製陶所	清水町	慶田政太郎	明治33年8月	陶器	350	10	-	-
鹿兒島市 陶弘山	柳町	隈元金六	明治19年6月	同	350	10	-	-
鹿兒島市 熊谷製陶所	塩屋村	熊谷政助	明治41年2月	同	350	10	-	-

第一一一 諸工場ノ二(職工、徒弟人員及賃錢) 十四歳未満ハ之ヲ除ク		明治四十一年十二月三十一日			
工場名	職工及徒弟人員	職工一日一人ノ賃錢(錢)		日雇労働人夫(人)	
		男	女	男	女
鹿兒島市 慶田製陶所	20	-	60	2	2
鹿兒島市 陶弘山	16	3	?	-	-
鹿兒島市 熊谷製陶所	4	-	60	2	-
			計		
			20	60	2
			19	?	-
			4	60	2

第一一二 陶磁器製造戸数		明治四十一年											
郡市	製造戸数	窯数			職工数			製造品価額(円)				合計	
		登窯	間数	其他	男	女	計	裝飾器	家具	製造品	其他		
鹿兒島市	5	29	40	10	34	8	42	17,510	3,130	29,550	2,020	1,520	53,730
鹿兒島市 川辺	1	1	5	1	1	-	1	25	26	-	-	1	52※1
日置市 薩摩	6	12	77	10	63	-	63	3,550	8,345	2,876	1,100	2,400	18,271※2
薩摩始良	4	6	26	-	22	6	28	650	450	3,500	100	-	4,700
薩摩始良	13	2	17	-	13	13	26	-	600	1,200	-	600	2,400
薩摩始良	30	51	171	21	137	27	164	22,535	12,751	37,626	3,220	4,521	80,653
薩摩始良	22	35	145	17	129	8	137	39,640	19,160	29,890	2,360	2,560	93,610
薩摩始良	17	35	147	17	147	8	155	24,570	19,180	23,530	2,225	2,550	72,055
薩摩始良	30	29	144	17	145	21	166	30,210	9,750	20,750	1,250	3,450	65,410
薩摩始良	32	29	144	17	141	22	163	19,100	9,600	19,500	1,200	3,600	53,000
薩摩始良	38	26	128	16	134	24	158	52,150	-	-	-	-	-

※1 原本 [520]
 ※2 原本 [18,217]

明治42年(1909)『鹿児島県統計書』(明治44年刊行)

工場名	諸工場ノ一(組織)		持主名	創業年月	製品種別	明治四十二年十二月三十一日	
	所在地	一ヶ年執業日数				日執業時間	
鹿児島市	慶田製陶所	清水町	慶田政太郎	明治32年2月	陶器	360	10
	熊谷製陶所	塩屋村	熊谷政助	明治41年11月	陶器	350	10
	陶弘山	柳町	隈元金六	明治15年10月	陶器	350	10

工場名	諸工場ノ二(職工、徒弟人員及賃錢、十四歳未満ハ之ヲ除ク)		明治四十二年十二月三十一日	
	男	女	職工一日一人ノ賃錢(銭)	日雇労働人夫(人)
鹿児島市	26	8	34	20
鹿屋市	10	-	10	4
陶弘山	20	3	23	25
			計	
			男	40
			女	2

郡市	陶磁器製造戸数		窯数		職工数		製造品価額(円)							
	筋	登窯	間数	錦窯	其他	男	女	計	裝飾器	家具	其他			
											飲食器	玩具		
鹿児島市	5	29	40	10	-	37	8	45	21,000	21,400	32,100	5,700	5,300	85,500
鹿屋市	1	1	5	1	-	1	-	1	205	-	165	-	-	370
川辺	1	1	6	-	-	3	-	3	800	200	500	-	-	1,500
日置	9	13	79	9	-	61	-	61	3,560	8,530	3,185	1,150	6,860	23,285
薩摩	3	6	26	-	-	22	12	34	650	450	3,500	100	-	4,700
始良	13	2	17	-	-	13	13	26	-	600	1,200	-	600	2,400
熊毛	1	4	4	-	-	1	-	1	-	134	-	-	30	164
総計	33	56	177	20	-	138	33	171	26,215	31,314	40,650	6,950	12,790	117,919
四十二年	30	51	171	21	-	137	27	164	22,535	12,751	37,626	3,220	4,521	80,653
四十一年	22	35	145	17	-	129	8	137	39,640	19,160	29,890	2,360	2,560	93,610
三十九年	17	35	147	17	-	147	8	155	24,570	19,180	23,530	2,225	2,550	72,055
三十八年	30	29	144	17	-	145	21	166	30,210	9,750	20,750	1,250	3,450	65,410
三十七年	32	29	144	17	-	141	22	163	19,100	9,600	19,500	1,200	3,600	53,000

明治43年(1910)『鹿児島県統計書』(明治45年刊行)

第一〇九表 諸工場ノ一 (組織)		明治四十二年十二月三十一日						
工場名	所在地	持主名	創業年月	製品種別	一ヶ月執行業日数	一日執行業時間	機械数	公称馬力
鹿児島 慶田製陶所	清水町	慶田政太郎	明治33年2月	裝飾器飲食具類	340	9	-	-
鹿児島 隈元陶器工場	柳町	隈元金六	明治15年10月	陶器	330	10	-	-

「本表ハ職工及徒弟人員十人以上ヲ使用スル工場ノミヲ掲記セリ」

第一一〇表 諸工場ノ二 (職工、徒弟人員及賃錢) 十四歳未満ハ之ヲ除ク		明治四十二年十二月三十一日			
工場名	職工及徒弟人員	職工一日ノ賃錢(錢)		日雇労働人夫(人)	
		男	女	男	女
鹿児島 慶田製陶所	20	-	20	60	5
鹿児島 隈元陶器工場	20	-	20	自50至80	3

第一二〇表 陶磁器製造戸数	明治四十二年													
	窯数		職工数		製造品価額(円)				其他		合計			
	登窯	閉窯	男	女	計	裝飾器	家具	飲食器	玩具	其他				
鹿見島市	5	35	50	-	120	8	128	65,000	10,000	40,000	-	-	-	115,000
鹿児島 川辺	1	5	-	-	1	-	1	155	60	152	-	-	-	367
日置	1	6	-	-	3	-	3	800	200	500	-	-	-	1,500
薩摩	3	14	9	-	60	-	60	6,060	12,360	5,395	1,240	9,510	34,365	
於良	6	25	-	-	20	10	30	670	400	3,600	120	-	-	4,790
熊毛	2	17	-	-	13	13	26*	60	840	1,200	-	-	-	2,880
熊毛	4	4	-	-	1	-	1	-	112	-	-	-	-	198
熊毛	33	177	59	-	218	31	249	72,745	23,972	50,847	1,360	10,376	159,300	
熊毛	56	177	20	-	138	33	171	26,215	31,314	40,650	6,950	12,790	117,919	
熊毛	30	171	21	-	137	27	164	22,535	12,751	37,626	3,220	4,521	80,653	
熊毛	22	35	145	17	129	8	137	39,640	19,160	29,890	2,360	2,560	93,610	
熊毛	17	35	147	17	147	8	155	24,570	19,180	23,530	2,225	2,550	72,055	
熊毛	30	29	144	17	145	21	166	30,210	19,750	20,750	1,250	3,450	65,410	

※ 原本「36」。正誤表より訂正。

明治44年(1911)『鹿児島県統計書』(大正2年刊行)

工場名	諸工場ノ一(組織)		所在地	持主名	創業年月	製品種別	明治四十四年十二月三十一日	
	一ヶ年就業日数	一ヶ年就業時間					就業日数	就業時間
鹿児島製陶所	清水町	慶田政太郎	明治33年2月	裝飾器飲食具類	342	10	-	-
限元陶器工場	柳町	限元金六	明治15年10月	陶器	330	10	-	-

本表ハ職工及徒弟人員十人以上ヲ使用スル工場ノミヲ掲記セリ

工場名	諸工場ノ二(職工、徒弟人員及賃錢)十四歳未満ハ之ヲ除ク		明治四十四年十二月三十一日	
	職工及徒弟人員	職工一日一人ノ賃錢(錢)	日雇労働人夫	女
鹿児島製陶所	男 20 女 - 計 20	-	男 5 女 4	4
限元陶器工場	男 20 女 - 計 20	-	男 3 女 3	3

郡市	製造戸数		窯数		職工数		製造品価額(円)				明治四十四年			
	筋	間数	筋	間数	男	女	計	其他	飾器	家具	飲食器	玩具	其他	合計
鹿児島市	5	40	53	-	135	12	147	-	68,000	12,000	43,000	1,000	-	124,000
鹿児島川辺	1	5	1	-	1	-	1	-	72	30	70	-	-	172
日置	11	6	-	-	3	-	3	-	800	200	500	-	-	1,500
薩摩	4	85	9	-	59	-	59	-	6,160	12,580	6,150	1,380	11,270	37,540
始良	2	25	-	-	25	10	35	-	880	2,500	1,070	50	-	4,500
龍毛	17	2	-	-	17	17	34	-	160	840	1,400	-	700	3,000
龍毛	1	4	-	-	1	-	1	-	80	-	-	-	55	135
龍毛	40	29	63	-	241	39	280	-	75,972	28,230	52,190	2,430	12,025	170,847
四十二年	32	33	177	59	218	31	249	-	72,745	23,972	50,847	1,360	10,376	159,300
四十二年	33	56	177	20	138	33	171	-	26,215	31,314	40,650	6,950	12,790	117,919
四十二年	30	51	171	21	137	27	164	-	22,535	12,751*	37,626	3,220	4,521	80,653
四十二年	22	35	145	17	129	8	137	-	39,640	19,160	29,890	2,360	2,560	93,610
三十九年	17	35	147	17	147	8	155	-	24,570	19,180	23,530	2,225	2,550	72,055

※原本「21,751」